

授業紹介、先生紹介

世界史Bの授業 担当:山田 秀平 先生

6月21日（火）、研究授業を実施しました。

対象の授業は2・3次生が選択している世界史B、担当は山田秀平先生です。山田先生は熊本県での約10年間の教員経験の後、昨年度本校に配属され、現在1年次生の担任をしています。社会科はもちろん他の教科の先生方もたくさん参観してくれました。

この時間は、「第一章オリエントと地中海世界 3. ローマ世界」という5時間の単元の4時間目で、「キリスト教の成立と広がりについて、ローマ帝国の統治と関連付けて理解する」ことを目標に授業を行いました。

◎キリスト教とユダヤ教の違いについてまとめてみよう

◎イエスの教えはどのような人々に受け入れられたのか考えてみよう

◎キリスト教がなぜ公認されたのか考えてみよう

このような質問を投げかけて、生徒たちが考えたり、表現したりできるような工夫をして進めていきました。



<山田先生にインタビュー>

Q 今回の授業で生徒たちに理解してほしいことは何ですか？

現在、世界で20億人もの信者がいるとされるキリスト教がどのようにして誕生したのか。また、歴代ローマ皇帝による迫害から公認、国教化へと転じた理由や、キリスト教の拡大にローマ帝国の統治が大きく関わっていたことを理解してほしいと思います。そして、この時代の動きが現代世界のキリスト教発展の基礎をつくっていたということに気づいてほしいと思い授業をしました。

Q 日頃の授業で大切にしていることは何ですか？

「現代とのつながり」を大事に考えています。歴史上の様々な出来事が現代の私たちの生活とつながっています。授業のなかで生徒たちがそのことに気づいた時、目の輝きが増していくように感じています。生徒たちのこうした気づきが「もっと知りたい」という学習意欲につながっていくと考えています。そのため、私は「現代とのつながり」を大事にして日々授業をしています。

Q 葛総生に一言お願いします

高校三年間で色々なことに挑戦してください。失敗することもあるかもしれませんが、成功も失敗もどちらも価値があります。失敗に対してネガティブなイメージの人が多いと思います。しかし、失敗することで原因を分析し、次に活かすことができます。成功も失敗も人を成長させてくれます。葛飾総合高校の三年間で多くのことに挑戦をして、大きく成長してってください。

6月の土曜講習「世界史アジア史」の様子

